

50年以上の歴史 六郷仏教会の花まつり

5月21日、六郷仏教会主催の花まつりが行われ、鮮やかな衣装に身を包んだお稚児さんたちが、市場通り商店街周辺を練り歩きました。

50年以上の歴史がある六郷の花まつりは、毎年お釈迦さまの生誕を祝い開催されます。

稚児行列が通ると、沿道ではたくさんのお見物客が笑顔で迎えていました。



農家の暮らしに触れる 仙台市立沖野中学校が 農業体験

5月23日から24日にかけて、仙台市立沖野中学校の2年生12名が美郷町を訪れ、町内農家に宿泊し、農作業などを通じて農家の暮らしを体験しました。

参加した生徒たちは、慣れない作業に戸惑いながらも、農家の皆さんにアドバイスを受けながら一生懸命に取り組んでいました。



美郷町消防団も参加 雄物川総合水防演習

5月28日、秋田市秋田大橋上流の雄物川岸で雄物川総合水防演習が開催されました。東北地方の6県が持ち回りで開催しているこの演習は、「河川の出水に備えた水防技術の向上」「関係機関の連携を踏まえた水防体制の強化」等を目的としています。

美郷町消防団も参加し、水害発生時に堤防の近くに漏水した水が噴き出している場合の水防工法である、釜段工を実演しました。



■関根辻子氏

秋田の元気を美郷から 美郷カレッジ

6月3日、今年度第1回目となる美郷カレッジが、宿泊交流館ワクアスにて開催されました。

講師は、株式会社資生堂の顧問である関根近子氏。「仕事も人生も輝いて生きる～プラス思考の育て方～」のテーマで行われた講演では、関根先生が公私ともに悩んでいた時期に出会った「プラス思考」についてや、普段の生活で実践している、輝く人生を送るための考え方についてなどを学びました。

水環境を守るため JAL美郷水環境保全キャンプ

6月10日から11日にかけてJAL美郷水環境保全キャンプが開催され、JAL社員16名が来町し、住民の方々と協力して町内の清水の清掃などの活動を行いました。

町とJALは地域活性化や環境保全活動の推進について連携協力協定を締結しています。



水の大切さを学ぶ 水の森植樹活動

6月20日、六郷東根にある町有林で町内小学校の4年生をはじめ、町議会議員、教育委員、土地改良区、森林組合、JAL社員など約200名がブナの苗木200本を植樹しました。

植樹の前には美郷町住民活動センターで、秋田県仙北平野土地改良区の藤岡義博次長を講師に「森林のはたらき」と題した学習会を実施。参加者たちに、水資源や森林の大切さが伝えられました。



チャレンジデー2017オープニング
セレモニーにてあいさつをする松田町長

コラム 風

「永遠性に内在するもの」

美郷町長 松田知己

先月、町ラベンダー園と学友館での川瀬巴水展を紹介するため、FMラジオの番組に行ってきました。生放送ゆえに妙に緊張しましたが、最後のコーナー「私の思い入れの一曲」でほっこり。緊張感から解放されたその曲は、ビートルズの「レット・イット・ビー」。「いいねえ」という方、必ずいらつしやると思っています。

その「レット・イット・ビー」、私にとっては「永遠性」を感じる曲の一つです。「詩、メロディ、歌声」すべてよしの楽曲で、いつ、どこで、何回聴いても、「飽きる」という未来がまったくイメージできません。私にとって永遠に好きな曲なんだろうと思います。

こうした永遠性を感じる物や事柄、人それぞれに多くあるだろうと思います。私にもまだあります。具体の一例を挙げると「ミロのヴィーナス」。県職員時代に実物を観たことがあります。その感動は今も色褪せず、写真等を目にしても感動は蘇ります。紀元前の人間が表現した「美」が脈々と生き続け、現代人を刺激する。まさに永遠性のある美なのだろうと思います。

そしてもう一つ。先般ある方

を通じて、ある映画のPR版（と言ってもほぼ全編）を頂戴し観ました。感動しました。その主人公の一人が美郷町六郷出身の「むのたけじ」さん。もう一人は日本初の女性報道写真家「笹本恒子」さん。それぞれの来し方を振り返りつつ、現在を切り取ったドキュメンタリーには、生き方を貫く芯、あるいは思慮と行動を支える心柱を感じました。きつと時代を超えて評価されるものと思います。強靱でありながらしなやかな意志と実践の人生は、永遠性を持つ生き方ではないかと思うところです。

「笑う101歳×2 笹本恒子 むのたけじ」というその映画、昨年ご逝去されたむのさんへの追悼の想いを込めて、7月8日(土)町公民館にて上映します。映画製作の河原厚徳監督のご講演も予定しており、老若男女問わず、必ずや今後の生き方を考えるきっかけ、あるいは生きる希望を感じていただけるものと思います。より良い人生を考えた方が多いと思います。